

經部

定四庫

詳校官筆帖式 慶隆

洗馬臣王坦修覆勘

校對官筆帖式臣松

年

總校官編修日王燕緒

校對官編修臣勵守融

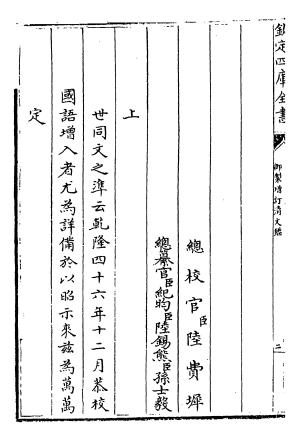
譒

譯生臣寧 貴

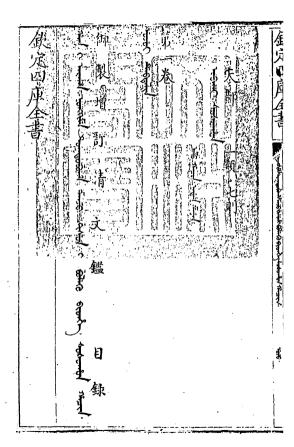
腾 録監生日温從準

金牙四月全十二 欽定 四庫全書 御 製增訂清文鑑 聖祖仁皇帝定為清文鑑一書分類編排體裁大備 提要 欽定製序頒行 國書字頭切音之法實備形聲之用自 總網八卷補編總綱一卷乾隆三十六年 臣等謹案增訂清文鑑三十二卷補編四卷 御製塘打清文鑑 經部十 小學類二字書之屬

大百日中山西 文明 皇上绐缵 指授館臣詳加增訂每條標著 國書伴覧者皆可成誦其注釋並取日用常言 國語左為漢字或一字對音或二合三合切音 毫髮不爽其右列漢語又其右音以 而未有音切漢字我 期於人人共晓不致有拘牽傳會之失而新 提更



| _ | | | | | | | |
|--------------|---|---|------|---|---|--|--|
| İ | | ! | | | | | |
| 1 | | - | | | | | |
| | | 1 | | | | | |
| - 1 | | | | | | | |
| | • | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| l | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| ~ | | | | | | | |
| 提要 | | | | | | | |
| | | | | | ' | | |
| | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 1. 1.1. | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| スこう 元 | | | | | | | |
| 1 | | 1 | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 | | | • | | | | |
| 7 | | | | 1 | | | |



3 片光 欠已日日之二丁 地方清文祖 天文類 七則 ŁŁ 一類 九則 Đ

人介書 **火ゥ美** 地野類 十四則 **美男型公里** 一類 十四則 里里里 LL 九則

第三卷 · 飲定四重合等 門門り 走了了 足, 是 お見る生 一類 一则 义 Ħ 徘

からうます 二類 三則 かうず 到表類 二則 見見正 建建

金只四月全書

大小丁三 L. 第四巻 設官部 旗分佐領類 二則 订有 建建 再是重重 一類 二則 と見

金为四月五十 設官部 聖轉類 臣宰類 三類 十六則 世東京東京 十四則 111

第五卷 欠已可巨人上了 / 增 打清文 做 政部 考選類 十三類 十九則 見見見見

在少世月日電 心避類 心避類 是った政事類 LL 四則 かとべるぞうくがありて

大足可巨人 繁冗類 //增订清文级 Ł 二则 Đ

金少四月在 輪班行走類 争關類二則 ŁŁ

大でり自己は **寛免類** 刑罰類 重場の理 iş 清 二則 丈 编 P ik

第六卷 一分定四庫全書 1世部 夏里里 東京人村大変 九類 十六則

朝集類 11人, 直機頻 重きりましって 五則

祭祀類 えずろっま 延宴類 電再類 Ł 二則

飲足四車全書 選種類 建 要服類 學也是月五十二十五十二年 IL 二則 二則 建生

第七卷 是常 東京人 一直 二類 六則 色建 三则 欽定四庫全書 文學部 人,食 是是男 書頻 六類 十五則 八則 ţŢ いまで かんしかからの ろしんし きな 11 三則 Ŋ ţ **∤**L

在プログノーで 文教類文教類 文學類 文學什物類 建工 二則

第八卷 次已日東Alado L, 是, 三則數目類 二則 儀器類 かる LL Ð

次足可重在時一一一 打清之姓 日 步射類二則 騎射類 征伐類 建生 八則 钵

第九卷 摆跤類 二則 私人主 駒馬類 Ł SHALL TO CHELL BURBOLING FOR CHILD STATE する 钦定四重全書 門前丁清之姓 目妹 世方 まずっまましま 可應大類 ましっ しい LL 三則 六類 十八則

次記司車全島 用坊山大無 第十卷 人部一 教響類 六類 十九則 大道 一一 1 二則

たいろいったノコー 人類五則 親戚類 人倫類 L 11 二則

火尼日車 /il/in ▼/ # 打 朋友類 人身類 清 1 八則 Į. 二則 43 E 100

第十一卷 多定匹庫全書 足利的 十四類 二十三則 里里里里里 入則 Į i

夏更多 福祉類 皇 新 建 二则

Ø

ナバ

金穴四库在書 夏重類 養真類 親和類 二則

Ý

第十二卷 していりい ここ 一十十年 丁 年 と 人部三十 食者類 十八類 二十則 1

金分四月五十 名譽類 电勉類 男健類

欠已日東 公子 L 觀視類 問答類 ìŢ 二则 11 建建 二则 大 帙 Ð ų

多定匹庫全書 野會類 東拍類 是是是

其主 東北 建快類 母 美更 東與斯取與斯 1年月1日 多是主意均服類 飲定四庫全書

聚美類 野歌

分給類

Ŧ

第十三卷 人部四人部四 **建建新** 我我我有一 十七類 十八則

钦定四軍全書 人情以清文 生育類 生産期 事典類 Đ

在次巴耳白電 爱情期 事笑類 見ります

首之類 當借類 走建分里 17 Ē

弘定匹庫全書

我問類

怨恨類

北 五十五五 する 女王主

第十四卷 人部五 是有是 五類 十七則 重 里里里 かれておっていているのでとしているのできる 1. 二则

欽定四軍全書 四湖山湖 至事, 華響類 動を見せって 四則 夏里 六則

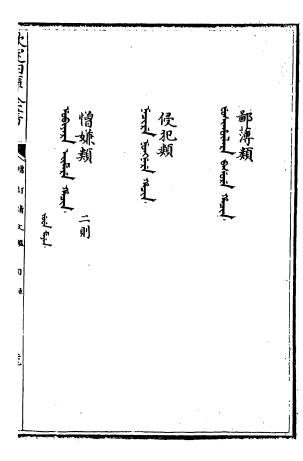
第十五卷 在八四月日書 是主題 二则 Į. 四則 LL

文尼日日 Clair 11 1 打清大概 人部六人部六 歌息類 十六類 ナ八則 目妹

ڡڰٵڵؾۊٙۉ؆ؠؠؿٷڰڟؿۿۉ؈ػؠۼۄۮڝۼٲڰڝڔڎ

飲花四車全書 · 湖山 清大 個 **温夏夏夏** 退移類 留遺類 目绿 卖

金分四月五書 排散類 拿放類 遇合類



金少四月月十 青備類 重乳,

火毛可睡心的 人部七 見馬類 /增订清文摄 日錄 十一類 十五則 بفتر يو يمكن موصور يدنن

ないとうとう 叛逆類

次足可看人生 一人特打清文縣 1. 三則 二則 ŁŁ 二則

有りで「たん」で 是りまする **建力是**。 事是 · 工工 で、できていることのできているのからでのからなるというなかったかられた

第十七卷 次足り事在信 明明 北北 新 ませ 人部八 借者類 可以是是一种 十六類 十七則 E

金与四月全書 騎於類

是多了 精频频

たしつるとは 輕在類 ij 二則 愚昧類 過失類 羞愧類 欽定四庫全書 更多了 是是人 懶惰類 31 Ð

第十八卷 次定四重全差四 村 打 清文 他 人部九 かませって こ 十三類 二十則 まりましまれるまします! ŁĻ 二则

歌定四車全等 原州山海文版 里まろった 洗漱類 日本 ちれのつき Ð Ē

金安四月五書 要変 まむえん 潮濕類 在仲類

大巴田原 八十 完全類 7. 增订 二则 清 美生 第十九卷 神文 聖かっなりむ 二日 佛類 建建 二則 TIL 二類 三則

欽定四庫全書 まるようえ 野の道 in 文纸 可 一類 おきまれ 则

至うずくすむ 枝藝部 可見ろうまっまりと 醫巫部 醫治類 建建重重 二頻 三則 お見ませ 一類 一則

收定可重 在一一一一一一一一一一一一大 我教 L 100 Ł 二則 是是是 二類 二則

第二十卷

重 至,至

打道類

Ê

| 飲定四車全書 | 増力清大州 日 M 是 是明人 宮殿類 重朝類 主义主主主 三類 十三則

第二十一卷 在汉口月白津 居處部三 手,主, 十一則 生艺是主 三類 六則 聖馬里

大足可具心部 二 開開類 订清文 四则

是 是工類 夏八里田地類 三則 主主 七類 九則 int was said this をする 欽定四軍全書 學 美 割採類 是器類 钉清文级 · 目 7

第二十二卷 在以口上人口下 飛磨類 大雅 我是我

次足り更らき 捆堆類 ij 清 八類 十六則 文级 ¥ 呈

飲定四車全書 八牌 打清大雅 目体 里里了 打性器用類 在まる ずれま 工匠器用類 北北 二则 見つず 北北 四则 生生 三則 呈

第二十三卷 なけれたる言 烟火部 北 美烟火類 お見せむ 一類 四則 四则

次尼日和 Alfalo 一人 村 时 清 大 做 重要かっま 意主 見っえ 重書の見布帛類 四類 十二則 夏里 六則 Ø ł

第二十四卷 彩色類 紡織類 主主 11 三則 二則

飲定四庫全書 聖男の更二 三祖郷 京 小 す文機 目録 十三類 二十則 I I 二则 四则 是

钦定四車全書 門川山清文 鋪盖類

金岁四月百書 私教類 剪維期 京上上 是 1、三 であるというのかまからなずらのなっ 三則 ŁŁ A Comments

第二十五卷 大巴司屋 小小 包裹類 まる男子工の主 ÌŢ 清 E 14 T,

多定匹庫全書 器皿部 器用類 お見るのが 十四期 八则 二十四則

TO THE SELECTION 多寡類 製單類 二則 Ł

量度類 **毛** 也。是 見異類

飲定四庫全書 大小類大小類 東東 · 東破壞類 斷折類 diane of 学者等方等897 清文 雅 E **是**

聖 重 11人不要,主 孔裂類 重重 三则

第二十六卷 飲定四庫全書 一門 山清之城 目 妹 智造部 學造類 里道 里里 十六類 十六則 九

在少四月日書 截砍類 折絕類 ***** - 次已可見公子 · 四/增 打 順刻類 清 相 FJ 辣 *****

每点匹库在老

「してい」」」」 とここ 1月月期 Ţ

一次已四重全書 一度打清大雅 東部 船部 船類 新夏夏 一類 二則 新光里里 類 四则 LE 四則 Ę 纺

第二十七卷 在分四月在書 我一人,我是我 重事類車輪類 建生 二則 可是 村里 五類 十六則 \$ 14. T 大田田田 北北 里 以八重 配内類 钉清文版 四则 四则 Ð

基飲食類 三則 四則

煮煎類 八類 九則 1里里

一多定匹庫全書 剝割期 建建 二则

△是 建 要要類 東延新

在灾巴居台書 発量部 雜果部 光数類 あず、東北 類 建建 二則 あずります 類 二則 四則

第二十九卷 次已日戶 AET 1 指文版 果品類 お建建建 頻 四則 四則 E) H 季だ

別文四庫全書 樹木部 樹木類 再建重新重 類 十一則 十一則 重新重 土工 四則

第三十卷 とろこうま とこう 北部 北叛 あまる東 類 六則 重重 六则

たしょうとう 具在部 見のず 十川 崔類 attanged this show a state of the state of t 可工 六則 をむ · right start and that 四類 二十則 1

飲定四車全套一門的海文 第三十一卷 死禽動息類 羽族股體類 艫 意 些 川則 建建 二則

金万匹月至書 歌部 乳獣, 走歌肢體類 重重重 三類 九則 七则 重重

大三可良 八二 生畜部一 歌の長人 東北 大戦動息類 П ħ 重重 三则 入類 0 十五则,

一金元四库全書 一个多 Barting Strats Bioons, takent Man 1

馬匹毛片類

重重 三則

事之 まれ、まるせると、性高等生類

とこうま ここ 北北の北の北の北 馬匹肢體類 乳中之, 五十三 ij 重重 惠里 二則 二則 建建 1 ر (نه t

第三十二卷 一多定匹庫全書 一个 牲畜部 套備馬匹類 北の食物をうる علي م المر عمله المرا 五類 九則 重其重打

ころうして 100 新慰期 夏也了事 是二是 收養類 建生 二則 ŁŁ Ł 列) 建建 二则 17.1

禁甲部 かうつうすせ 1, 业者是 是 多一人 一八五人 Built high shift some and and shift متعمر عمر بها متها 四類 七則 建生 二則

钦定四事全書 " " " " " 龍蛇類 門魚類 海魚類 重生 四則 なニ

金牙正匠白書 真心の食 蟲類 肢體類 からからまっまし 更重重重 一類 五則 四则

大巴可見 東上のまえる ìŗ 清

金少い月日書 产御 飲定四庫全書 天部 天文類 七則 中部 中間中 かんせつかるのか まめり 増 丁丁清 文 鑑 巻 五是正 類 七則 毛北 であるというかんからのであるのかっちのような **\$**:

一大已日至 1147 國/增 訂海 文 įų.

芝御る 除安尼 阿州於 聊昂少链 天文頻 111 附月 聊克 郭乃行 類 阴安尚 伊岛恩尼 烏頓岛 まないいるるか 七則 * 盤 伊特斯 馬路衣 城補附抄因 卷

阿捕幣 事为 上十里 1 分 鄉呼條 阿楠松 事清,天 正郷神は様思門補格 よう 電方形出 阿補降 缺地蹦站是 化 鳥勒愚叮 茅 天氣清虧

· 大克·金子·黄 百 多字是 阿俊国 情吃用粉 東方明是上手型在了了工具一个 分子、子ろうするより、歌呼四部呼四分型 まれしかい ましてまた するもの まぞ すがら であるしてかし トロカラ 歌呼野な 旅行性的な 琴教明 美美事天亮 食みずる 一方のないないのであるのかんないのから 類歌 類野 孝

飲定四軍全書 · 増打清文機 * 光 我你只能是一起你好我会、光耀日本学 門を門か 全 至王 かり 附野地 野神 子至 上生 丁ラウン 海動門で 早州 天晚 北京 春春 1 類的態思 くずかず サイヤトラングラー すてとしてすのかく 複動機師 すず エザー とし グラチ するようのえ 阿補修衣 結析恩 生土っ トロヤーナイスカーの 断思 ようしょうからも あのようし 天 1 ありま 更办 いっちょうかんだかい 日、七年しまかかりかくかんだかい 我看手天河 Į, 事为罪

白いとにたる言 明明恩 明好恩 全人工中一五天 丁子丁丁 排粉女 全 五人丁子丁 那班那 **登晴** 新勒斯恩 門前門馬門 日子多人 光射 おっかかり まかっかり かがり をあってし するかんなをますのなると日光時射ますろもかまれる ţ, من الما الما かいかい かいかい かいかかかい かいのののかり きゅうかいのいっち かくまつませ 脚助服修作 ままりかくなつ が推沙を帰 A B ろりまれ 回光湯漾 金子子 回光亂動 金子子 発する 日光 5 五季日照 北京 きずずず りまず ろ る 4

次已回更 dishi了 一一一一村 村清 大 姐 まれる少しまつかえる一伊門門所をからかります。 あろうなかり 神形物野安 かいっ 全事かろうでするま 四級思 全一日 日中中 好恩 此門中門様 まずかかつ 日野 まずり 場 金河北 4 2° 1. まるか 機補焼性 えなっす 重要影 土土工业 事 日陽 りまう 野教をまって、ようし ク 陰凉 本 444

面近四月全書 直上するむするか 新思 柳勒焼物 ゆかっているかっ 事ある」ますがあっけけばすまてっしりますあまってい 好思 納地町 「からですかか」。新たりは、またのは、ますののです」と、すおかく伊納幹に 都性因 日微科主多事日大科主事 際光 野子等人子子等日出 重新 日升 おおいかなからないののでかっている 一分, 好思, 馬呼的野 日午 ģ.

大公司更 /ml.丁 一人增 打 清 文 维 馬門門門 全文章是了 納思初思 主つかのかかかん 色淡重點 勝思 随情何所 全 よのまかかり 新思 野四郎 全 すか ちみ すえり すかり 新思 日平西主美五事日入 万ずら 重多是 からましか、動き地を押かしまっている」という 「あの」、新屋 Wark (もつのあるようのもろうななのの) 新思 日食事意力主事事 日珥屯克事 全人 まずを見れる 文事中方 伊門 中国 Ħ

一多 元四 库全書 足を事 であること、「おおう」とうことと 一般がなまた 早野、のましまでう かりとかし、東内 我はた のそうと 見りの変し 子子中の版西北尼那安雅和 一年門 あるあき みつか 月暗 考し 隽 見事を持 一种 好 少年時 等務納私 月牙 122 月朗秀

てろうう こいり 全乳 の子子の「日のか」の子、印府、印府の作所安、の子」つの日の「小小の」「日のの一年時の上記の子根が作 まず 月色淡 秀立丘 我們 订肯文盤 月暈 野夏 是 新祖 事 野鄉 月 野野 圓 \$ ずるれず 月食 TY TH 2117 美き

星星 四方にたる言 乳を上かり上分記 天文類第二 阿棉胶衣 防供因 3 **阿哈** 阿達 阿哈 鳥一門

次尼日巨白馬 一村 打清大塩 奉 天極星 門補除衣 謝恩 尼 的妈的 までも ますとかく すの 万安 高仍的 まずと ナナーカ つ 女子一个好? 附衣順 馬西林 苦里也了五分子的人生了五十年的人 海鄉 栖呼醉 ますれたのうれもてからまってすかのをすしてますらお難神戦 らの西か まろよう 事太子星、 よみず かせる あるとうまれます。 南田 多才 景月星月

金少四月年書 帝車 門補附衣 射寸離聽恩 馬伯路 了里里里的人分了了多方 斯勒羅理 馬伯路 丁里丁里丁里 the tip あうませせん 上がろをする一般 鳥解衣 鳥西路 よるようもちかます 大乙里 多新班 馬西鄉 小子里里是了了一天的 脚大野 了里里了 七月星月 新りてまる。 ひそいち かけつかるののかかくっせるつ きるずん 多多多多 糖做 馬個陪 瑶まず 我是

九己可良 二 1 /增订清文级 ろか 周井 島西林 事をうかし 北京一村四日 高奶粉 了多了了了 羅睺星士 期の 島西町 まうた 全星 表 一艘水野安 与细阶 多少,粉粉、兔鄉門 小排析 紫杰星 変えず

學性職 是五世子 烏腳片 都里常生是家 あるの人便所不胜与所安 馬 何所 あれしょう のろり 弘 香的人是 班克勒安 重重 夢月李里 乳球 宿 柳見 尼附安勝安 鳥門除 まえしまるとかいっこう POT THE ってまりずは移性

するとなったっちん ならない これをしていていますのではないできないとなるとなる ころれるは、 人し まんれん ではなりつ からかったがかられたかですが、いかしてのはかっかがろうとのかあする 味味解性 トラグラト ヨかのとうかりはあげ町、トラントで見をすずるようからなりは動門が思います つかけのの一個国都学、デジタを見れてくれているのはつかりの様本斯内 氏 からかられるからまからまった 尾

欽定四庫全書 類移納 エスクトルもでえてましまりますりまなりないのではないちゃんとい かかれれなるまする المراطاة الم 一种 明明 のうせつけっとう 焼きぬ トラントでしたのうかけずしてのいまりつ いまり あるとときるで 美事中北京第五 虚 母をかかれてまずなりつ 生ませるする 帰失嫌に まず ţ

おれたが、インクトをしてるます」のは、よろう ષ્ટ્ર あかれませるとする かられていますると との人物水の日 まかりましたをまして 文壁 るるの作のであるとれれてなるでは、からいかついまり まっずる妻 いるとうなので のすり コメンシャ のはないかいのかんないでありつまれるです 五方非性好思 了了是是我是 ţ 田男 假勒 熊附安

ではりつからりつけまりかく 門头は イラクトを上れてまれてましてはましていまり、歌珍明後 イング それ、するしてはなってるかってはないのと、動物が後てあったれたしてすれてましてませる ずのいちのとからっまれること、中でいるとのくのうととしまるとのすろうますろうと、此角 いかかんなからないないないないないないないないないないですのですり、将州 コントルート 胃 3 かからではあれてからまって 日川 をえてい まま おるまでありつずるよ **欽定四庫全書** 伊英西湖思 まずかれれたなるですとうまするのます」まして結本便 まちゃれし 井」 不力事を全つ事人 のからうりは呼ば まかりましてまずる かましつもり 西原生 いってのうしているいのかからつるすってん 日本 張」 八附補制 事多年是是要是了一个 Total the toeston the てまずずつず

伊勒神神馬の時人あるうようあろう 天文類 第三 阿爾院 你顾目 主为 平天不星 了利性路安尼 點過解期 男見力 事分

次足四重全等 一時 打消 文 城 せんしんからかかかっする またつまかれやるうせったか 争華蓋 P. 類勒機斯班 所門所安 馬四か 丁里 11-12-1 党等 聖子是是了多数 斯科州安 陈衣随安 為 四於 またましてまるよう まろか 一所門 雖衣師 島西哈 多 勾陳 بقلائي 3° ± 1

金河四月全書 鳥病は、すうこうのすうとするしてするか、神野で残失鳥のめ、すうようのすうまかってするしつ トラケ 事河鼓 一大子 一大子 大子 生于上蘇於門部 烏內外 子子子ののようまプラインを見ます。 比時間 烏西谷 子子上つ المراجعة المراجعة するかっているというというかっていけあい らいかい すうきろのすつ ちょつぎょ 伊報伊 あるせんちゃ يييارمن ههدي يدين يربيدان ويدهون مرك بينيون مينوايينام TOGORAL TOTAL えがままれて せんかりる 乳場

たつうう かんか 大きます せんしょうかんしょう まん 起寫明的 颗伊納沙律 星光閃灼手 // // とか、なら類鳥がかずるかのえつまろれ 夏事 彗星 ìŢ るとせる 分子子 類性結馬阿防子是分上十一年十一日 シンコーション 鳥四門 焼烟 重丁 大るでも 五少分類照期 島柳縣

都克匹库全書 島西的 法持を押 まるとうなる とかれ 是一時元時用所納品 トラマタスト 少一 物物班安 為前納 星隕 英国女主 方 是多多事 / 雅麗 雕弄陽

いる時」 たずらうますとうますといる時年-111上上 脚切此思 天文類 阿補脫衣 附件因 上十八人 曾曾 订育欠

するか、ようでするからからでする。上一季 金分四月在這 的伊 上月中子堂一年里中京中国中国中国地域修作中分享工家工了中京工事的 用品 蹇淌 頭輪頭頭伊 トラマクラアクラス まずれら脱る まずしょうかい けん 腹味 まずしててまから 3 3 「飲水飲や」ありつのようないとうで、あば、一門あいは、トライイスライスラウスと、かられ、 微雲 是電子事 震 これできるないできる。 まずれ يهيهريك بريدار ويوهما بداهين يوهيدا بالورد والميود 生事 霞彩手 لمراد والمرود ريود 天帯 一門補償 雲布

欠己可臣 AIMI 一一一一 清文 做 調動 時思 ようかんのかれつ あまつめの 島東島郷村伊 上記しましてましているので、 明茶 陰 かまり まずます 少 海政等 周接 今日以 かりんでうかん 浮雲 雲布 人局根 爾克斯斯 · A文·克尔多人多一班那門部 馬 伊馬基 寒气特可以 陰了 まずず 1. 1 Parkets. 事彩雲 するり 周歩 かん焼か 雲磨響 五十二十二 ¥,

金分四月在書 断處するとする 油然 為丁襲神 ような d L れた様よろうし むへなれた かがいないか すずず するので からか ずる かっすいまかれるます。 重日も 為伊 伊爾斯斯斯 魚鳞雲 子 馬伊 片移り門 ようて 美代 雲散 かんし Į. 馬伊 可好到那那 ようなまましてます 收象 類呵 類将 類呵 雲勢

た「LIJona Lithin III / 博 訂 清 文 鑑 よううできるである するでよれないなから、門あ門安、ようではましてまるから まるできる 為九城越行斯所は まか 上是事 多點與 哪里里 下霧

金牙四月五十 のり、四個大財務は、このことははなりますなりましてついませんがはしてある g3の了あ了阿克服安トラグラの中の中小人 阿克服整件 ~~~ (可不必么の) 脚時歌眼 阿克服作件 湯無疑 事了十 The same これがいてからのかからいからないののでかいからのでんない 事 雷聲不斷 なっているのできないとはないのことになっているでしているない 剪剪

九己可臣 AILIN 日 時 打 请 電 伊門行い 切頭 円克時伸 より期的ない 鬼迷 円克時俸 焦雷 門物側形安 トランテク STATE VELL 1 5 李章 電光微閃 了一大一路脚時便 了了 Craff. ¢ 大五十七分 門人附安 附門移門 丁丁 日まる 一丁丁丁丁丁一日 的一門事伊阿安世的時中門移軍 雷擊 電光閃灼 CIT CITY 電光

[雨 阿何 金分四月五世 河如河野中 文 接連 & 母子をして 古るのと 天文類 阿祈除文 野使用 事人 あず 第五 事露水門 平下雨

欠己可見 Achip 一一一切 打消火 鐵 ようつかり 上上一旦 何州的女 何門 」を上上の上上の一一一一一一一一一一一個情味中上 事事甘雨 多り、時間は移は ししまのしまでってかりしのと 憲明 一馬馬 馬馬門務伴 子子 下雨點、小小 ぎず 雨陣陣下 又分 為克羅恩知克雅思 阿陽移佩 المعتل المعالمة 疎雨點點 子見見れ 院門 阿聯州 上五

動穴四库全書 特部 門が押 しまってかりましたかっていますの一部の 海銀 門門だ押 てまろかりなしませかり 纟 近しま まえかんでき」ないの時に伸一十日一日一日子のカラトラできるのでしていれば明を押しましまる HONOTER WE WIN LOW THE THE STATE OF WE SENT THE SENT THE STATE OF WE SENT THE SEN 東京中暴雨 愛子子子であるようで 帯山下雨 ちゃうちょ ちょうかんないのからのなっていまつ まるます **東越湯**

(Ca.)了三 /clip 如将打消火服 卷 雨起泡 要的多 神界勝瀬特件 「しってかん」と「まっての」与所が明母 銀紙 阿門特件 ホテナサラからから まるま 一大からするよう 馬輪切りな 「陽牌」上 一日 ありし 事事 盆傾雨 出了する 一人了 四等時期 阿特伊 古 連陰雨 المراجل المناور المناور 滂沱雨 手手起了 一多 馬門城 阿腊移鄉 大雨如注 **額伯 額基** Z 3.

剑穴匹库全書 1000 阿務伊 してするまろうする 伊明明 阿特州 丁里 とくまるあろくれて 浸潤がかずるか 1. T. 美工产 季 阿拉斯 かってからい かっと <u>ئەمھىيارىسى بىيدىد چېيەرىمىيىكىھى مىزمىيم</u> 中門門 雨透 殿風雨を上する 美 人はいある 外はは してつまる まるやむ 門間 ţ

とこうえ にこ 晴りま 雨 ければ ずか まろうしつようゆうか 野學學 何時 人 ij 清 Ł 拉 事 密雲忽開 多雨晴 伊門馬思伊斯科提 子了了了了 ŧ. 丰

金万里屋石書 虹霓 到 如为人 鳥馬馬村 大口人 日日のあるかんなりでは、ましているののの後鞭を飛りない、からり トロスト てはら、直えの人に附近既所 事物 きゅう するえんりろうの後を強を 了ましていた 男事漢語同上 えぞ 我一根 即 する pl 引 かとの 伊後班女 随作の所 Yourd す 運事 虹現 **■むおいかいいかいのののかっかいまのからまるます** 虹消 AND THE A Park Ŧ 虹霓走と ずろ 雲遮

次定日日 白色 Carried S 打了事也明神之事。 e 1 郭璇 \$ 雹 Ş 外伊馬門 10日の上一丁一日の 歌順 ノっかけましてまるしていった」であるとなってかけのは一般神移は ののトランスでが一般 阿捕除衣 附加因 子面力 天文類 第六 あえ ろうしまればらか 未被電打 北京のまで下電のある被電 À By F Carrier 额 那伊馬門島 即四日日日日十四日 丈 麮 巷 てま Signal. 主 \$ P

露 金河四月百言 那九郎和果 五岁年多事 下露 人子多伊斯特 新頭前移門 イヤスティスのようのうよのでした」の場所は、東部町の地井は、イヤスティカスの「ちの」な かずるまます 印頭等伊 阿伊阿 Ĩ, 引事事 露光閃灼 فسلاينونيه ادهيناهمم بالمنور مدفقينا 1937 151 の 一般女切所見 田勘特は 事等是多 甘露 見 ずおおとてする まてからい納料機 かがある بالمقلي وقر المريطين S L

欠已日日 一一一日 日 日 日 日 五 姓 四朝時 事のまえつまして 至事事雪 ててしからすし即あるすると 防災所安 の縁神体 あられつかしんつ もうもの 八事多少照場は 1.3 まるうか、野類思くなるののましか、教師思 強神移伊 つき 和工 悉 **工**看了 Ŧ 一門為問題 寒露

在少正人人 かけらゆ かとこれの変していたから、所名的な伊 こめのでもずる 何以時移揮 むっかかりたいらき かとし 不多家下雪 光·蒙蒙 雪片是 すずまうてず」い門所はは、するうてすするの人間補限ですえるまろうありてするでかける時候は 雪夏季 المستهدد وسترهم والمدار والمعالم المعالمة المعال 風雪有聲 ずままま 下米心雪手 てなるよう , jaka 1 まずまず中中雪 ままり Take in きろかます 下雪片 4

火足以更合言 一州 打清文 符易 河宮 第一年的原作明明的原件 子子子上五五五子 風雪飘湯不多小事 The second second まる 雪上微凍でる えろけんか けらが 阿門伊 かかうつまかかがあかかか 鬼門女 います 落一次 まずずますます 落水乗 切片門門 等多了了人 少病的神學 不是自己是是 不多 風楊雪事事 BELLEY. Ī

在分正月五世 タメサー 雪融化 一伊門吊腿 懶幹斯 事が世界 事雪浮凍 かんだっからからからないののかんかっちゃかいからまる 不多なあず 大東方は おかり 丁書中、伊門安 為類 るず 雪面坠凍 まる 1, 港村本學

大巴丁巨 公子 城元都思 するして、男は、よれりましてかって 皇东 天文類 第七 うつう一八時間 まえつてもつるしゅうする 麻っちょうするかったの **//增 订清** 北雪氣 t 鎮 里 五十 野馬中東西野馬 上り張物明の よっす Ē

かりにんと言 Marton of the 烟源河布京 類が思するしてつでは一年では 蘇 金田田子五年一門 はします TANTO B. 与門門伊·里·可以直京的人的 蘇特伊 王 一十四十一一一一 上蘇斯門神蘇門本軍 James, まるないないしょ いるからいずのかいますかっ 可見上上一時物門安 田男つ みあでむなく zingen jager. 大丁子のなからのいののはないできる ならのまたい 旋風重東京都烟窩里面工事 游絲工是少年之事 了ないしてはまし でいるですべきつ 40000 ķ

收定四東全書 · 門海 打清 領人職所 1011年10日 期御思 随得牌 1119 与时处时后想领都照 子子子子,不是一定更了了一个人們都問題 報鄉縣 多王 一里王一十年後的為想報鄉縣 多王 重彩事利風 られてのではかかりているとうかり、内を押していませかり、領海思 文 糕 本 重要事 漢語同上 一般都移伸 烟塵すず風 なるず であり

金け四月日言 爱里如果迎風 一所為何夫類都恐分子为不入 ABO入 BTO FT (** POTE) 類解思 歌呼 额指牌 (五) 所為局題類都思 のこ のっしりしょしかのって 糠牙筋鞭思 する人伊斯島関節とかうますからなるようなしまして、陳斯町見 質師思える くせま せの 華重素 薫風 更多一种一种一种一种 額鄉恩

大足口同心(do) 用 可 清 大 照 卷 聖里里到機風 到到更到重新大風 了一一樣可能照 随榜便 了一个人人人 不 了 一 新於 類銀 随转揮 了 少是事 一所用門 野崎思 すれっ まるろうかのまますのですか 阿朋友 野郷尽 野河山 有通母事 新直動車 新風 Ę 阿法 书为 阿肯

金切四月在書 随門一里的之前之了是一門 的問題 眼柳 重 南大马 宝道 是 罗 迴風 野柳鄉 轉伸 重注 主意家的人 是一人为 馬伊賴 聽押 重 よるかれてするようのと、いいはなな、これしてかしてなしたしてかられていているというには対対ない 南北京 Tital ale the 野の まずる まかなか المسترون المستواف المستون والمستران والمستران المستوارة 風頂住重走事 旁風 文型 引 金地 馬 風鳴條 £ ^ t 風揚壓 かえるかっ

欠已可見之子 國海 まからず 有等な 物方質見 事節 事風機沙雪 事事 古り上 好時代学 丁里一年一年一年一年の上の一時時以前将甲 ありつ すうまってるへん 事事文事 ずずずる 重 美 風焼をかすってもあるとしてあむしまるからしかってあ 丁まそうとまう 打清文概卷 おりてき まるだられ あろう するまん おうかんかん 茶工品味 沙被風於重上事聖子 divided. 事分野 重 一 新鮮恩 Ē

在父四月五章 事風息 阿纳 阿噻 阿洛 ᢓᠳᠯᢝᡴᢒ*ᡬᠰᠲᠰ*᠅ᡭᡏᢛᢙᢒᡕᠳᢥ᠊ᠭᢛᡤᠢ᠈ᢛᢛᠻᡒᠯᡆ

